

教科名	書道	科目名	実用の書（3年次）【2単位】	
授業形態	実技			
選んでほしい生徒	書道Ⅰを履修済みの人が望ましい。			
科目の目標	書道における基本理論の理解を通して、実用書における表現と鑑賞の能力を育てる。			
身に付けてほしい学力	1 書道における基本理論の学習を通して、芸術における書道の理解を高める。 2 生活の中の実用的な書を学習し、硬筆検定3級合格を目指す。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 1 硬筆の学習 楷書、行書の基本点画 平仮名、片仮名の字源と書き方 葉書、掲示物の書き方 理論（部分の名称、筆順） 【2学期】 2 仮名の学習 いろは歌、変体仮名、連綿 俳句、短歌の書き方 3 実用の書の学習（1） 表書きの書き方（慶事、弔事） その他の贈り物 【3学期】 4 実用の書の学習（2）		・硬筆を用い、硬筆検定に必要な技術を身に付ける。 ・小筆を用い、基本的な用筆法を身に付け、仮名の字源と字形を学習する。 ・筆ペンを用い、さまざまな基本的書式を理解し日常生活に生かす技術と態度を身に付ける。	
評価の観点・評価方法	書の関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	・実用的な形式と表し方について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで行おうとしている。	・それぞれの形式と表し方を判断し、文字の大きさ、配列、書式など、それぞれに適した表現を工夫している。	・実用的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身に付け表している。	・日常生活における手書き文字のよさや美しさを感じ取ろうとしている。 ・書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解している。
上記の観点を踏まえ、提出作品、鑑賞プリント、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 幅広い表現理論と技能を身に付け、個性豊かな表現をしよう。			
教材費	約3,000円（上記の教材費を含む）			
その他	特になし			